

風早地域センター

〒739-2403 東広島市安芸津町風早 1214-1 電話・Fax(0846-45-0023)

市民一人 1学習 1スポーツ 1ボランティア

東広島市では「市民一人 1学習 1スポーツ 1ボランティア」をスローガンに生涯学習を推進しています。風早地域センターでは、このスローガンを生かすためにも、センター主催講座をはじめ自主サークル等沢山の活動を日々行ない、地域の皆様の大切なコミュニケーションの場を提供させていただいています。地域の皆様の主体的な取組みで運動や会食、芸術、サロン、会議等、様々な催しが工夫されながら実施され、生き生きとした元気な姿と笑顔を見ることができています。

地域のシンボルとして今後も豊かな情操の場が提供できるように努めていきます。そのためにもセンターでは次年度へ向けても楽しく活動ができ、地域へ発信できるような講座を考えていきますので、皆様の協力よろしくお願いいたします。



子ども食堂 お楽しみイベントで

もちづくり おせち料理

令和6年 12月27日・28日



もちづくりは、重ねもちと平もちをつくりました。

時間が勝負ゆえ、まずスライムで丸める練習をしました。まあ〜るく まあ〜るく 幸せいっぱいのおもちができました。

おせち料理は、それぞれに由来があります。オリジナルたまごやきにチャレンジしていろんな料理に願いを込めて作りました。

※ 27日には22人、28日には25人の参加がありました。

2025年 よい年になりますように!



子ども食堂は、毎月、第2第4土曜日開催しています。子どもたちや親、地域の皆様に栄養のある食事を安価で提供され、食を通じて地域の人たちがつながり触れ合う交流の場となっていますので、たくさんの地域の皆様の参加をお待ちしています。



1月20日(月) センター主催「**バラエティー・ハンドメイド講座**」を開きました。



「ものづくりを通して、地域の人とのネットワークを広げる」をスローガンに、今回は、クラフトバンドで籠を作成しました。クラフトバンドで竹細工で使われている編み方を学び、竹や藤に比べて柔軟性があり加工しやすい材質であることを体験し、立派な作品が完成しました。



高齢者料理教室を開きました



1月23日(木)

高齢者料理教室第3弾「地産で作る十八番(おはこ)料理」を開催し、赤飯・白菜とエビレモン春巻き・あんかけ卵焼き・豚バラ大根・わかめと竹輪の炒め物を作りました。

20名の参加者で、美味しくいただきました。

「浦安の舞」 巫女神楽舞人を募集しています

「浦安の舞」とは、巫女神楽舞のことであり、昭和15年(1940年)に紀元二千六百年記念行事(昭和15年に神武天皇即位紀元2600年を祝った一連の行事)を行うに当たり、祭典中に奉奏する神楽舞を新たに作ることが考案され、全国神社に伝わる神楽舞を基にして作曲作舞された巫女神楽舞です。

地域センターでは、新年度(4月)から、主催講座として小学生3年生以上女子を対象に、「浦安の舞」の発表に向けて練習していきたいと思っておりますので、参加協力よろしくお願いいたします。

※ 希望がありましたら、地域センター(45-0023)または、祝詞山八幡神社(45-2239)まで、連絡をお願いします。



神明祭とは



全国的には、とんど祭りといわれていますが、広島県の三原地域から西部の呉地方にかけては「とんど祭り」といわれています。本来、宮中の行事でしたが、江戸時代から、全国に庶民の行事として広まってきました。一時中断するようになりましたが、戦後、子ども会を中心に復活し現在に至っています。早田原地域では、上、西、東、向、南区、灘(神事のみ)、小松原、大芝地区が毎年、神明祭を行い一年の無病息災、地域の皆さんの連帯・発展、コミュニケーションづくりが図られています。